

神経研究の進歩 総目次

1956年～1968年（1巻1号～12巻1号）

- 1巻1号 '56年1月
神経系疾患の診断法（Ⅰ）
- 1巻2号 '56年4月
神経系疾患の診断法（Ⅱ）
- 1巻3号 '56年8月
代謝障害と神経疾患（Ⅰ）
- 1巻4号 '56年12月
代謝障害と神経疾患（Ⅱ）
- 2巻1号 '57年4月
脳の生理に関するシンポジウム
- 2巻2号 '57年10月
脳腫瘍
- 2巻3号 '58年3月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅰ）
- 2巻4号 '58年5月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅱ）
- 3巻1号 '58年10月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅲ）
- 3巻2号 '59年1月
肝脳疾患（Ⅰ）
- 3巻3号 '59年4月
肝脳疾患（Ⅱ）・小脳
- 3巻4号 '59年9月
錐体外路系（Ⅰ）
- 4巻1号 '59年11月
錐体外路系（Ⅱ）
- 4巻2号 '60年1月
展望・脊髓血管障害例
- 4巻3号 '60年8月
神経化学懇話会
- 4巻4号 '60年8月
興味ある症例の臨床と病理
- 5巻1号 '60年10月
第1回神経病理懇話会
- 5巻2号 '61年5月
脳血管性障害（Ⅰ）
- 5巻3号 '61年9月
脳血管性障害（Ⅱ）
- 5巻4号 '61年12月
脳血管性障害（Ⅲ）・精神薬理
- 6巻1号 '62年3月
脳炎・膠質細胞（第2回神経病理懇話会）

- 6巻2号 '62年7月
小児神経病学
- 6巻3号 '62年9月
第4回神経化学懇話会特集号
- 6巻4号 '62年11月
神経解剖
- 7巻1号 '63年1月 ￥1,400
脳腫瘍（第3回神経病理懇話会）
- 7巻2号 '63年3月 ￥1,200
神経疫学・診断検査法
- 7巻3号 '63年6月 ￥1,400
脳研究のあゆみ
- 7巻4号 '63年8月 ￥1,200
第5回神経化学懇話会特集号
- 8巻1号 '64年1月 ￥1,200
末梢神経（第4回神経病理懇話会）
- 8巻2号 '64年4月 ￥1,200
奇形性神経疾患
- 8巻3号 '64年7月 ￥1,300
第6回神経化学懇話会特集号
- 8巻4号 '64年11月 ￥1,000
視床一構造・機能・臨床
- 9巻1号 '65年3月 ￥1,000
蛍光抗体法と Virus 性脳脊髄炎
- 9巻2号 '65年7月 ￥1,000
代謝性神経疾患
ミオパチーの疫学と臨床
- 9巻3号 '65年9月 ￥1,000
第7回神経化学懇話会特集号
- 9巻4号 '65年12月 ￥1,000
神経シンポジウム
- 10巻1号 '66年3月 ￥1,000
脳のシンポジウム
- 10巻1号まで売切れになつています。
- 10巻2号 '66年7月 ￥1,000
第8回神経化学懇話会特集号
- 10巻3号 '66年10月 ￥1,000
脳のシンポジウム
- 10巻4号 '66年10月 ￥1,000
第7回神経病理学会特集号
- 11巻1号 '67年3月 ￥1,000
いたみ
- 11巻2号 '67年8月 ￥1,250
日本脳炎

11巻3号 '67年10月 ￥1,250

脳のシンポジウム

11巻4号 '67年12月 ￥1,250

第8回神経病理学会

12巻1号 '68年4月 ￥1,900

精神薄弱

'68年8月 第12巻 第2号 1,250円

【特集 脳研究の進歩】

脳研究所30年のあゆみと展望……………時 実 利 彦
細胞核のレベルからみたノイロンと

グリア……………黒川正則・他

水平半規管系求心路の前庭神経核内

ニューロン機構……………島 津 浩

運動野と体性感覚野から視床などへ

の投射……………草間敏夫・他

Olive 核を中心とする解剖学……………岡 本 道 雄

脳幹部呼吸性ニューロンの逆方向性

ならびに順行方向性刺激応答……………福原武彦・他

ヘルペス脳炎の病理成因について……………山 本 達 也

Hallervorden-Spatz 病の病因論……………白 木 博 次

Genetics of Epilepsy: A Review……………Eiji Inouye

臨床脳波学の進歩……………佐 野 圭 司

大脳誘発電位とその臨床的応用……………黒岩義五郎・他

脳血管性障害における優位半球障害……………勝木司馬之助・他

核間性眼筋麻痺, Oscillopsia, 小脳

症状などを示す3症例……………塚 越 広・他

脳浮腫の研究……………植 木 幸 明

東京大学医学部脳研究所のあゆみ……………武 村 信 義

【座談会】

神経研究の将来

(時実, 佐野, 白木, 豊倉, 井上, 草間, 黒川)

【原著】

光に過敏なてんかんについて……………丸 山 和 子・他

脳動脈攣縮の実験的研究……………田 中 輝 彦

【書評】

西園昌久著: 薬物精神療法……………土 居 健 郎

上村卓也・他著: 神経耳科学検査法……………椿 忠 雄

David H. Clark 著 (鈴木淳訳):

精神科医の役割……………岡 田 靖 雄

'68年10月 第12巻 第3号 1,500円

【特集 てんかん】

てんかんをどう考えるか……………秋元波留夫・他

てんかん発射の神経機序……………沢 政 一

てんかんの生化学……………斎 藤 章 二

てんかんの直流電位……………真 柳 佳 昭

てんかんの病因論……………有 馬 正 高

臨床脳波とてんかんの分類……………和 田 豊 治・他

てんかんの臨床型……………万 丸 章 三

自律性てんかん……………下 田 又 季 雄

反射てんかんの展望……………福 山 幸 夫・他

小児てんかんの臨床経過……………大 田 原 俊 輔

小児てんかんの精神医学的側面……………平 井 富 雄

てんかんの社会精神医学 (小児)……………橋 本 禎 穂

てんかんの社会精神医学 (成人)……………笠 松 章・他

てんかんの薬剤……………田 縁 修 治・他

てんかん研究の国内文献……………(編) 和 田 豊 治・他

【古典のページ】

痙攣についての研究……………John Hughlings Jackson

萬年 甫・他訳

【書 評】

David H. Clark 著 (鈴木淳訳):

精神科医の役割……………西 尾 友 三 郎